

戦略的廃棄物マネジメント ～循環型社会への挑戦～

発行：岡山大学出版会
 編者：田中 勝
 発売日：2008/3/31
 価格：税込 2,800円（A5版、356ページ、DVD付き）
 岡山大学生協、岡山大学出版会ホームページ、Amazonにて販売中



本書は、地球環境問題における三大危機である地球温暖化の危機、資源浪費による危機、生態系への危機を念頭に置き、幅広い視野に立った「戦略的な廃棄物マネジメント」を論じたものである。とくに注目されるのは、「ごみの発生・排出」「収集運搬」「中間処理」「最終処分」までの処理システム全体を「資源消費」「環境負荷」「コスト」を基準にして評価できるソフトウェア SWMSS JAPAN のDVDが付けられていることである。このソフトウェアによって、科学的な施策決定や意思決定が可能となる。たとえば、自治体が、焼却処理施設を廃止するか、新設するか、などの意思決定が容易におこなえる。実に画期的なツールである。

また、これらの意思決定を評価するための基礎的な情報や今後の方向性、あるいは課題が全16章に整理されている。「廃棄物マネジメントの施策・計画」では、循環型社会形成における経済手法、コンパクトな都市空間のリサイクル手法や有害廃棄物のマネジメント手法などの取り組み、さらに、「廃棄物の評価、3R技術」では、廃棄物リサイクルにおける化学物質のリスク管理法や汚染修復技術、有害廃棄物（医療廃棄物、アスベストなど）の現状や方向性が詳述されている。また、資源消費量と排出量の多い建設廃棄物や浚渫土のリサイクルの方向性や、エネルギー消費量・CO2排出量の多い石炭やコンクリートの現状と方向性、あるいは新たなエネルギー資源など最新情報が満載されている。

本書は、循環型社会を形成するための廃棄物戦略をテーマとするが、その視点は地球規模の環境問題を押さえ、かつ環境負荷を含んだ市民生活や経済的な分野にも視野を広げた、有益な実務書である。環境問題にかかわる自治体職員だけでなく、研究者や学生、そして広く一般の方々に一読をお勧めする。一章ごとに完結しているため、どこから読んでも良いし、辞書的な使い方もできる。長く座右に置くべき書であろう。

評者：日本工業大学ものづくり環境学科教授 小野 雄策

学生スタッフ コラム 1



いちょう並木創刊50号を記念して今号から誌面がリニューアルされ、学生スタッフのコラムが新たに追加されました。これが第一回という事で、いささか緊張していますが、あまりかしこまらず、ふと思いついたことを書いてみたいと思います。

新年度が始まってから数ヶ月が経過し、季節は早くも夏を迎えようとしています。思い返せば、新入生の頃は大学の休みの多さに驚いたものです。高校までは決められた時間割の中で、せわしく過ごしてきましたが、大学では時間割を自分で設定することができるので、授業の合間に長い自由時間が生まれたり、二ヶ月もの長期休業があったりと、私たち学生には実に多くの時間が与えられています。非常にうれしいことですが、これはどの時間が与えられると逆に戸惑ってしまうもので、時間があればあるほど、どのように過ごせば良いのかわからない状態に陥ってしまいます。では、どうすれば与えられた時間を無為に過ごさずに済むのでしょうか。

実は、今まで私は充実した休暇を過ごせたためしなかったのです。でも、今年度が始まる直前の春休みは、有意義に過ごせたと感じています。

本学の語学研修プログラムに参加し、オーストラリアのアデレードで38日間のホームステイを経験したからです。この研修では、アデレード大学での半日間の授業が終了すると、残りは自由時間だったので、友人と話すのも、買い物に行くのも、ホームステイ先でゆっくりするの

もすべて自分次第。そこで私は、アデレード観光ガイドに掲載されている観光名所を制覇しようと決めました。毎日、前日か当日の朝にあらかじめどこに行くかを決めておき、パンフレットを携えて美術館から博物館、教会、店舗、銅像まで、アデレード中を訪ね、38日間ではほぼすべての観光名所を巡ったのです。このおかげで、毎日を充実して過ごすことができましたし、さまざまな体験をすることで、ホストマザーとも話が盛り上がりました。ちょっと言い過ぎかもしれませんが、ツアーガイドが務まるほど、アデレードに詳しくなったのではないかと、自分では思っています。

この経験から私が学んだことは、あらかじめ完璧に計画を立てる必要はないが、前日に次の日に実行したいことをリストアップしておき、それをこなしていくのが休暇を充実して過ごす秘訣であるということです。朝起きて思い付きのままだ行動するよりも、多少は計画性があるて、それでいて適度に自由で、なにより達成感があります。

休暇中何をしたらだろう？と振り返ってぼんやりすることがないように、みなさんもそんな風にちょっと意識を交えてみるのはいかがでしょうか。

(学生スタッフ：川前あずさ)

岡山大学では、より良い広報誌を作成するために、みなさまからのご意見・ご要望をお待ちしております。取り上げてほしい話題・質問したいことなど、何でも結構ですので、右記連絡先までお寄せください。

岡山大学広報誌

第50号
2009.6
いちょう並木

発行/岡山大学総務・企画部総務課

〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1
 TEL. (086) 251-7292 FAX. (086) 251-7294
 E-mail. www-adm@adm.okayama-u.ac.jp

<http://www.okayama-u.ac.jp>



創立60周年
2009